



東京島しょ郷友連合会だより

19号

【発行者】
東京島嶼郷友連合会
【発行・編集責任者】
秋廣 道郎
【制作・印刷】
オフィスYK



東京島嶼は、多くの活火山をかかえ、災害が耐えないところです。しかし、島嶼に暮らす人々は、度重なる災害から、支援を頂きながら、復興を遂げてきた歴史を持っています。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

当連合会は、各島の郷友会と連携して、東京島嶼出身者相互の親睦を図り、東京島嶼の発展に寄

与し、島嶼との交流をすることを目的としており、来年は、創立六〇年の記念すべき年となります。

今年、新年早々、能登大地震や羽田空港の事故などの惨事に見舞われました。被災者の方々には心からお悔やみ申し上げます。



島嶼郷友連合会会長
秋廣 道郎

《ごあいさつ》

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

今年、東京島嶼出身者相互の親睦、東京島嶼の発展への寄与及び島嶼との交流を更に発展させて参ります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。



利島郷友会 会長
梅田 勉

新年明けましておめでとうございます。大島会郷友会の現在のテーマは「皆さん、年に一度又は二年以上に一度でも、顔を合わせませんか！老若男女、仕事も立場も関係なく、ひと時だけ生まれ故郷同士、親睦しませんか。」です。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。



大島郷友会 会長
白井 勝美

新年あけましておめでとうございます。友情の輪を広げ、ふるさと振興の架け橋となるよう会員一同力を合わせ



八丈島郷友会 会長
菊池 順

新年あけましておめでとうございます。東京島嶼郷友連合会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。噴火で四年五ヶ月間無人の島となった三宅島が元氣とあふれる美しい景観に蘇っていくことを願っております。



三宅島郷友会 会長
高松 宏惟

新年あけましておめでとうございます。昨年は郷友連合会の新

活動を続けています。今年もご声援をよろしくお願い申し上げます。



神津島郷友会 会長
清水 邦洋

新年あけましておめでとうございます。さて昨年はコロナ禍の後遺症を引きずりながら一年が経過したといった年でした。

令和六年が皆様にとって希望の年となりますようご祈念いたします。



令和五年度

理事長 河野 秀夫

郷友連合会の活動計画と会議報告

コロナが5類へ移行して、町には人流が、人には明るさが戻ってきました。当連合会もこの波に乗って活動していきまうので、今年もよろしくお願ひいたします。

■第五八回定期総会報告

昨年五月開催の総会は、大島、新島、三宅島の町村長等のご来賓及び特別ゲストとして竹本葵太夫氏（柳瀬信吾さん）をお招きして、総勢五四名で盛大に開催しました。令和五年度の事業計画は「ふるさとに思いを寄せる」活動の具体化として①島巡り旅行の実施②島々との交流の推進③各島郷友会の充実支援等の7つの基本方針をご承認頂きました。具体的には旅行は新島へ、交流活動は歌舞伎鑑賞とゴルフ交流を、各郷友会支援は一島当たり二万円の活動助成金を支出することとしました。

懇親会では、竹本葵太夫氏（大島出身の人間国宝）から「島への思いと義太夫」をご講演頂きました。

した。見た目どりの柔和な笑顔と気さくな人柄が滲み出た語り口で、会場の質問にも丁寧な答えを頂き、歌舞伎を見たいと思わせる講演でした。

（実際、秋廣会長と竹本氏のご尽力により総勢五〇名で六月大歌舞伎を鑑賞することができました。）

各会長からご寄贈頂いた恒例の各島自慢の焼酎の口当たりが良くて、総会も懇親会も盛況のうちにお開きとなりました。

■五九回定期総会の案内

各島出身者が一堂に会する当会の定期総会は毎年五月に開催しています。ようやくコロナに振り回されず、在京者や町村長・議長等の皆様と懇親を深められる貴重な交流の場となっています。また島の今をリアルに話し合える貴重な情報交換の場でもあります。お気軽にご参加ください。

日時令和六年五月二十六日（日）午後十二時場所アルカディア市ヶ谷・私学会館（予定）

八丈島郷友会六十周年記念「自然・歴史・文化・芸能」にふれる旅

八丈島郷友会副会長 駒木 正雄

十月十八日二十二時三十分、今回の旅の目的地「八丈島」へ向け竹芝桟橋を出港しました。

船は橘丸、八丈島までは十時間の船旅です。この日は波も穏やかで予定通り三宅島、御蔵島に寄港し、八時三十分には八丈島底土港に着きました。参加者十七名全員で一緒に行動するのは、今日十九日と明日二十日のお昼まで。

早速、本日の宿「シーピロス」に荷物を預け、最初の目的地「服部屋敷」に向かいました。ここでは郷土芸能「樗立踊り」と「八丈太鼓」を楽しむことが出来ました。樗立踊りは、江戸時代に流入や漂流者、江戸と八丈を往復したご用船の乗組員たちにより伝えられた日本各地の歌や踊りを今に継承している島の伝統芸能です。次に「八丈伝統工芸、黄八丈の織元、めゆ工房」を訪れ、黄八丈の染めのVTRを鑑賞

し、実際に染め上がった絹糸を見せてもらいました。昼食までに時間があるので、大里地区の丸石垣と島のビューポイント「大坂トンネル」で集合写真を撮りました。昼食は「いそぎきえん」で郷土料理「黒潮料理」を、次に「えご・あぐりまーと」で島名物の「パッションジュース」を楽しみました。今日最後の目的地は島南端の温泉「見晴らしの湯」で、素晴らしい良い景色を見ながら湯につかり、疲れを取ることに出来ました。帰りは登龍峠経由で、お土産屋「民芸あき」に寄り、ホテルに戻りました。

夜はこの旅の主目的の一つ、島の方々と交えての夕食会。町長・議長と出席者の自己紹介の後、「八人会」による八丈太鼓を楽しみました。食事の後は恒例のカラオケへ。皆さん疲れているにもかかわらず、ほとんどの方が参加して下さいました。

ました。

島での夜は大いに盛り上がり、こうして一日目は終了しました。二日目は、前日に行くことが出来なかった坂下地区の観光めぐりです。

まず「ふれあい牧場」で牛とふれあい、千畳敷の「宇喜多秀家・豪姫の像」の前で記念撮影。続いて、支庁内にある「歴史民俗資料館」で八丈島の歴史・文化に関する貴重な資料を見学することが出来ました。最後は、植物公園内にある「ビジターセンター」で、八丈島の誕生に関するVTRで、いかにして八丈島が出来上がったかを知ることが出来ました。

見学はこれで終わり、全員で行動する最後に、中之郷地区にある「光邦食堂」で昼食を取り、解散になりました。

フエでお茶をして別れました。私は本日帰る四名の方を見送りに行きました。

こうして二日目も終了しました。三日目二十一日は予定はなかったのですが、偶々「町主催のグランドゴルフ大会」があり、我々も特別参加できることになり、八名が島の人たちと一緒にプレーしました。楽しむことが出来た。終了後五名の方が帰京しました。

私は二十二日（日）三原小・中学校の運動会を見学し、二十三日に帰京、長い旅は終わりました。



奇跡の『新島』旅行

理事長 河野 秀夫

今回で十五回目の島巡り旅は『新島』で、十二月一日から一泊、総勢二十二名で行ってきまし

た。コロナ禍で五年振りの島旅でしたが、計画段階から日程で紆余曲折ありました。村役場の山本さん（会と島を繋ぐ調整役）や新島会のご尽力で漸く実現しましたが、次の難関は冬の天候でした。大島までは出航してもその先は波浪の影響をもちに受けます。案の定、十一月下旬から強い風が吹き荒れて直前三日間欠航でした。前夜も風が止む気配はなく、最悪中止が大島行に

変更かといに悩みました。この不安を見透かしたように大沼さん（新島出身）から連絡があり、「河野さん大丈夫だよ、明日は出航するよ。」という力強い言葉を頂いて床に就きました。

十二月一日（金）集合は竹芝に午前八時でした。早く運航を確認したくて七時に到着しました。ボードの出航可を見て一安心しました。誰一人遅れることなく全員集合していざ出発です。昨日までの強風が穏やかになり高速船で二時間五〇分の船旅は快適でした。波浪の影響で若郷港に到着しました。役場のバス二台で出迎えて頂き、都内で一番長い全長2kmの平成新島トンネルを通過して大沼弘一村長を表敬訪問しました。

この後、まず新島村博物館に行つて、学芸員さんから島のコーガ石等の地質や地形、流人の歴史、島民の暮らしなど丁寧に説明頂いたのにより深く島内観光を楽しむことが



できました。流人墓地や十三社神社をはじめ強風の洗礼を浴びたコーガ石の石山展望台、自然の営みが創り出した6kmに及ぶ白い砂浜の羽伏浦海岸等を巡った三時間はアツという間でした。



は良心的な値段で鼈甲寿司や明日葉の天婦羅など島の名物料理を沢山並べてくれて昼も夜も大満足のひと時となりました。

八時過ぎにお開きとなりましたが、新島の夜をもう少し堪能すべく有志十四名でスナック「大使館倶楽部」に行きました。新島出身のママさんは気品のある素敵な方で、新島に来たらまた寄りたい

と思ったのは私だけではないはず。さらにビツクリしたのが、昨年十月の『郷友連合会親睦ゴルフ会』大島でママの息子さん（大島在住、七島信用組合勤務）と同組でプレーしていたのです。

世間は広いようで狭く島巡り旅行ならではのエピソードです。ほろ酔いで見上げた新島の空には無数の星が瞬いていました。

十二月二日（土）土曜日でしたが、今日も役場の山本さんと藤井さんが八時に迎えに来てくれました。民宿の前で記念写真を撮ってから、船客待合所に行つてお土産を爆買いしました。



「新島ガラスアートセンター」は行った方が良いでしょう。

というところで十時オープンを持って見学しました。コーガ石を原料としたガラス工芸品や体験教室はやはり一元の価値がありました。特に新島ガラスのりんごを模した製品は緑色の透き通った透明度と神秘的な輝きを放っていて、皆さんはこれも爆買いしていました。

出港まで時間がありましたので、希望者は湯の浜露天温泉の足湯を楽しみました。さらに私と青沼さんは、式根島から大型船が出港するまで露天風呂を堪能してききました。

帰りは十一時五十五分発の大型船で新島港を出港しました。船上から見た新島は、今回の島旅を締めくくるに相応しい人の温かさと神秘的な自然を満喫させてくれました。その後大島で十四時三十五分の高速船に乗り換えて十六時二十分に竹芝に無事到着しました。



この後、まず新島村博物館に行つて、学芸員さんから島のコーガ石等の地質や地形、流人の歴史、島民の暮らしなど丁寧に説明頂いたのにより深く島内観光を楽しむことが



楽しい思い出
ありがとう！

郷友会の皆さんで
我が故郷新島へ

新島出身四名（植村清彦・山本和子・青沼 武・大沼傳次郎）
島嶼郷友連合会 秋廣会長・河野理事長あり
がとうございました。

新島民宿 植林さん
お世話になりました。

新島村 大沼村長並びに山本さん・藤井さんには車の運転ご協力ありがとうございました。
もっともっとと見て頂きたいところがいっぱいありました。

また皆さんで行けるといいですね。

新島懇親旅行

神津会 清水 邦洋

先般、十月初旬、郷友連合会の新島懇親旅行のため朝霞にて芋ほりをしながら、参加者集めを致しましたが、残念ながらわずか五名ほどの参加者でした。

そして懇親会の参加者は全体で二十二名当、郷友会はわずか二名の参加者のみでした。

十二月一日竹芝にA M八時に集合高速ジェットで新島へ、良い天気恵まれ昼前到着、役場を表敬訪問、特に印象に残ったのは新島博物館、ガラスアートセンターでした。

博物館に英一蝶の絵画があったのには驚きました。そして流人が一三三三人にはビックリでした。島の道路はよく整備されていました。羨ましいくらいでした。

新島の規模は



約二三平方キロ、人口二二三〇人、神津は約一九平方キロ、人口一八〇〇人、規模は少し違いますが、隣どうし切磋琢磨で島おこしが出来れば、なごと思われました。

私は個人的には年に二〜三回仕事で帰島します。漁業が盛んな島ですが、今年も不良が続いていると聞いており、益々盛んな右肩上がりの状況が演出出来ればと念じて居ります。

インタビュー

島と郷友会をつなぐ役場のキーマン

INTERVIEW

大島町役場職員

小泉龍太様



Q自己紹介をお願いします。

初めまして、小泉 龍太（こいずみ りゅうた）と申します。昭和五四年生まれで、大島元町出身です。

Q現在の仕事は。

現在は、総務課で庶務係長をしています。

Q島の魅力を教えてください。

本土からのアクセスが良く、日帰りや一泊でも気軽に旅行できます。大島といえば夏の海、冬の椿のイメージが強いですが、秋頃の空を茜色に染めながら水平線に沈む夕日、春の満開の大島桜で色づく三原山など四季折々の景色や、裏砂漠、地層大断面など

幻想的で雄大な景観が楽しめます。

また、道も整備されていて島の大きさも程よいので、サイクリングやトレッキングにもおすすすめです。

住環境としては、自分らしく暮らしやすいところですよ。

静かな場所です。ゆったりと自分時間を楽しみたい、仲間や地域とふれあいたい、新しいことにチャレンジしたい等、それぞれ在り方に寄り添える場所だと思っています。

Q島の課題は何ですか。

住んでいる我々が大島のポテンシャルを過少評価しているところでしょうか。それが消極性に繋がり、停滞感を感じさせているように感じます。

大島は伸びしろのある島です。人と人との繋がりや絆を大切に、誰もが暮らしたいと感じ、住民や島出身の方が誇り

と考えるよう大島の魅力を見つめ直していきたいと思っています。

Q郷友連合会に期待すること

いつもお世話になっています。これから客観的なご意見をいただくとともに、島と本土とのかすがいとなつていただければ幸いです。

Q今年の抱負

職員採用担当として、働きたいと思われるよう職場環境の改善に取り組む、公務員の魅力や働きがいについて発信していきたいと思っています。

個人的には、町役場に入庁以来二十キロ以上増加した体重の削減を検討しています。



ふるさとに思いを寄せる イベントは今年も大盛況

利島会会長 梅田 勉

コロナ禍の影響で四年ぶりの開催となりました。あいにく当日は冬型の気圧配置に見舞われ、寒さに耐えながら昭和記念公園でのバーベキュー大会となりました。

参加していただいたみなさん、お手伝いしていただいたみなさんありがとうございました。利島会から三十三名、島嶼郷友連合会からは七名の方がご出席いただき、寒い中貴重な一日を割いていただきました。

たかべのみそ和え、磯ものバター醤油焼き、明日葉の胡麻和え、からむし麵のキノコ汁、焼きそば、ヨモギ饅頭、赤飯など利島の温かく懐かしい香りを味わっていただきました。公園の銀杏並木が黄葉の時期を迎え優しく迎えてくれました。

利島の宮塚山は神々しくそびえ、裾野は海へと雄大に広がります。近年では離島振興法の趣旨に沿った国や東京都の強力な施策により、インフラ

整備が進み、島の生活環境は大きく改善し、都会と同じ暮らしができるようになりました。

晴れた日は伊豆諸島の島々を望むこともでき、夜は満天の星を観測できる等、新東京百景の一つともなっています。これからも故郷を懐かしみ、島の人々を思う心を持ち続けたいと思います。

はるか昔よりきびしい自然環境の中で先人が育んできた利島は、思いやりに溢れた文化を持ち続けた魅力いっぱいの島です。是非一度訪れてみてください。



汗と涙とともに 甲子園の心を求めて

島嶼郷友連合会 梅田 勉

今年もまた夏の甲子園の季節がやってくる。昨年七月数十年ぶりに東京都予選二回戦に出場する母校を応援するため、江東区民球場を訪れた。焼けつくような太陽の下で、一つのボールを追って死力をつくす選手たちの姿は見るものに何かを感じさせずにはおかない。白球を追っていた自分の姿が蘇ったのでした。

高校野球の指導者たちが今も愛読している一冊の本があります。

恩師でもある佐藤道輔先生が書かれた「甲子園の心を求めて」という本です。この本は練習の日々にこそ本当の汗と涙があることを教えてくれます。「真の甲子園の心は、汗の中にもがき、泥土の中に泣いた練習のグラウンドにある」と書かれています。

先生は昭和三十六年四月社会科教師として伊豆大島に赴任された。当時

じ練習を課し全員野球を貫き、ひたむきに取り組めば必ずできることを説き続けました。そこには勝利至上主義を嫌い、人間育成に力を注いだ真の教育者の姿がありました。

大島、久留米、昭和、東大和、四校の監督を三十二年努め、大島高校を初め、全ての高校をシード校になるほどの実力校に育てた。七十八年、八十五年には東大和高校を率いて二度夏の西東京大会決勝に進出、甲子園出場は果たせなかったが「都立の星」として注目された。退職後は東京都高校野球連盟の理事長なども務められた。

ここに紹介する著書「甲子園の心を求めて」は初版から半世紀を経てなお読み継がれ、監督として活躍する教員は五十人を超えと言われている。

練習するグラウンドがオレたちの甲子園、高校野球の原点に立って若者たちとともに白球と闘い、人生のための野球を教え続け、生徒は野球を通して成長したのです。さらに、折に触れて、「私

たちが毎日の練習に励むことができるのは、多くの人々の協力や善意があるからです。両親はもちろん、兄弟、友人、先輩、そうした人々の応援に報いるのは単なる言葉では足りない。態度や行動でなければならぬ。

グラウンドでは闘志に満ちた立派な選手になること。教室では明るい意欲に満ちた生徒になること。社会にあつては規律のある若者であること、それが多くの人々の応援に対する私たちの何よりの感謝の表現であること忘れてはならない」と話しをされた。

先生は平成二十一年七十一歳で亡くなりましたが、「強い意志とやさしい心」をスローガンに野球を通して貫いた先生の指導は、一人一人の教え子の中に今も息づいています。



※「甲子園の心を求めて」を随時引用しました。

我が故郷三宅島

三宅島郷友会 高松 秀直

新年あけましておめでとうございます。皆さまは既に初詣に行かれましてか。日本では神社やお寺が身近にあり、日頃からの関わりが深くあります。島にお住まいの方は尚更だと思えます。私達、在京のものはそれ程身近な存在とは言えませんが、現代ではお賽銭もSNSを利用して奉納する神社やお寺もあるようです。時代はどんどん変わってきていますね。

さて、話は戻りますが島には立派な神社やお寺が多くあり、皆丁寧に管理されています。私は三宅島出身でありますので三宅島の神社の事について申し上げます。三宅島には大きな神社から祠を数えると二〇社（全国神社名鑑上巻「一九七七年」となっています。三宅島の人口二三〇〇名余りを考えると全国平均の十三倍と言われているそうです。三宅島では総鎮守の富賀神社を筆頭に五つの集落に二つ以上の神社があり、お寺もありま

す。夏には富賀神社の大祭があり、事代主命さまが各集落の神社に一泊ずつ五日間かけて巡っていきます。お神輿は富賀神社から若宮神社（阿古地区）翌日は后神社（伊ヶ谷地区）そして翌日は伊豆地区、その次は御務神社（神着地区）次の日は二ノ宮神社（坪田地区）、そして富賀神社に戻ります。五つの集落は三キロから一〇キロ離れていて関係性が希薄になりがちですが、この大祭のお陰で三宅島全体がまとまっているように思います。いつまでも末永く島の繁栄を願って行きたいと思っています。しかし、神社仏閣を守り維持することは大変なことです。島で暮らしている人たちのご苦労は計り知れません。



やはり私は旅をしたり、島に帰ると神社仏閣に自然と手を合わせる事が習慣になっていきます。先ごろでは、若い人たちも「パワースポット巡り」「御朱印収集」が流行っているようです。しかしその反面、無宗教や樹木葬、散骨等も増えてきているようですが、ほとんどの人が神社仏閣に行けば「手を合わせる」ことは拒まず行うことだと思っています。

現在、世界では宗教対立で戦争が起きて多くの犠牲者が出ていますが、対立のない平和な暮らしを普通にできる世界が早く実現し、永遠に続くようにいつもお祈りしたいと思っています。

皆様の本年のお幸せをお祈りいたします。

私達も高齢で微力ですが、出来るだけの支援をしていかなければいけないと思っています。日頃、私達も生活していく中では精神的な面で無意識に心の支えになつていま

す。

ゴルフ交流会を
大島で初開催

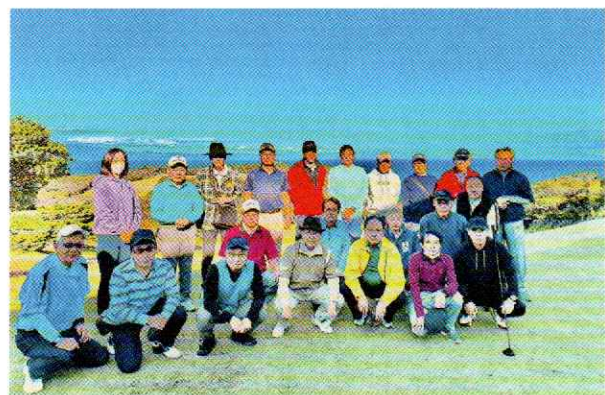
大島会 河野 秀夫

当会の歴代会長にはゴルフ愛好者が多く、昭和六〇年代に立木宏允元会長が発足してから開催しています。秋廣会長のご尽力で近年は計画事業として年二回行っています。

絶好のゴルフ日和となりました。経営者が変わりゴルフ場は綺麗に整備されており、ティーグラウンドから見る伊豆や島々の眺望は唯一無二の絶景で改めて感動しました。

昨年は一回目を六月に都ゴルフ倶楽部（山梨県）で、二回目を十月二日（日）に『郷友連合会親睦ゴルフ会「大島」』として大島リゾートGCで島嶼で初開催しました。

大島の参加者十四名を含む総勢二〇名でスタートしたゴルフは、各組それぞれで風の具合やラフやグリーンの攻略に奮闘していたようです。私達の組もボールは右に左に飛びましたが、カートは乗り入れOKなので島の起伏と開放感を堪能しました。全員のホールアウトを待つてお待ちかねの表彰式です。プレゼンターは朝からプレーをずっと見守ってくれた大島在住の川島伊勢男氏です。親しみのある語り口と堂々即妙の口術で表彰式を盛り上げてくれました。上位入賞者は日頃の成果か地の



利の差か、大島在住ゴルフファアの独占となりました。事業計画にあるとおり、足を使い汗をかけた交流はゴルフを通して島の皆さんのおもてなしと温かさに触れて、改めて「生まれ育ったふるさとの島」の有り難さを実感しました。



令和五年六月二十四日、東京島嶼郷友連合会の呼びかけによる大島ご出身の人間国宝「竹本葵太夫」さんの出演する歌舞伎座における観劇会を行いました。五〇名の方が参加されました。

演目は、昼の部の傾城反魂香・児雷也・扇獅子でしたが、傾城反魂香の葵太夫さんの義太夫節は、一時間以上にわたる出づっぱりの熱演で、大いに感銘を受けました。「傾城反魂香」の物語は、絵師の妻の献身的な良妻ぶりを描いたもので、参加された奥様方には大変な刺激となったのではないのでしょうか。

観劇後、「寿司三昧・奥の院」で、三〇名の参加のもと、葵太夫さんを囲んで懇親会が行われました。葵太夫さんの飾らない人柄と分かり易い歌舞伎、義太夫のお話に皆さん引き込まれたようでした。

又、このような観劇会を郷友会の呼びかけで行いたいと思いました。



島嶼郷友連合会会長 秋廣 道郎

竹本葵太夫 大歌舞伎観劇会



1. 人々が安心して働ける企業
2. 島の発展に奉仕する企業を目指しております「社訓」より

三宅島建設工業(株)

【本社】〒100-1103 東京都三宅島三宅村伊ヶ谷 333

電話 04994-2-0163 FAX 04994-2-1137

【東京支店】〒105-0012 東京都港区芝大門 2-5-1 アルテビル芝大門

電話 03-3459-8086 FAX 03-3435-9687

【出張所】〒100-1301 東京都御蔵島村 電話 0499-8-2229 FAX 04994-8-2323

石工事の施工おまかせ下さい!!

株式会社 ホーヨー

代表取締役 清水 邦洋

【本社】埼玉県富士見市水子4718-1

〒354-0011 本社 ☎ 0120-660-089 FAX 049-255-7068

URL <http://www.ishio-hoyo.co.jp/>

弊社取扱優良霊園のご紹介

【埼玉県】

- 富士見メモリアルガーデン
- 大宮霊園
- 和光聖地霊苑
- 仏子聖地霊園

【神奈川県】

- メモリアルサンステージ
- 横浜セントヒル霊園
- 横浜浄苑ふれあいの杜

その他、多数の霊園を取り扱っております。

- 都立霊園・青山・谷中・多摩・八柱・小平・八王子、各霊園取扱い

海を渡ったあの人は 八丈島郷友会 大澤 博紹 “奥山剛正さん”：今

現在カナダのトロントに永住している八丈島出身者がいます。名前は奥山剛正氏、御年七十九歳です。小さい頃から「世界に羽ばたいて世界を見てみたい」と大きな夢を持っていました。八丈高校を卒業して大学進学の為上京しました。親も相撲が強くて、その影響が奥山氏も相撲が強く、拓殖大学では勉学と空手道に精進しました。

卒業後小さい頃からの夢を実現すべく、空手道の経験と実績を支えにカナダに渡りました。覚束ない英会話や生活の苦労も、努力と根性で乗り越えて経験と実績を重ねました。空手を通して人と国づくりに貢献したい思いが心の支えでした。

トロントの街は自然が大変美しく、又出逢った人たちの心の温かさは氏を勇気づけ生涯を通して忘れられない思い出です。日本を離れて早、五十余年となりましたが、ここで空手道場を開き、七十九歳の今も子供から

大人まで幅広く空手道を指導しています。まだまだ忙しい日々を送っています。カナダ人はじめ多様な国籍の人達の心技体を鍛え、今では教え子達が世界中に居ります。特にフランス・ドイツ等の軍人の指導依頼も多く、世界を飛び回っています。

人と国づくりを通して国際貢献が世界平和につながるという信念をもって奥山氏は「八丈島とトロントは私にとってかけがえのない故郷である。」「夢と希望をもてば努力次第で成し遂げられるし、夢は必ず叶う。」と語ります。

この言葉は大谷翔平選手の「人生が夢をつくるんじゃない、夢が人生をつくるんだ。」とも相通じます。氏に限らず、他島の方も日本のみならず世界で活躍されていると思います。新年にあたって話題の一つになれたらと思つて投稿した次第です。

東京諸島で唯一のローカル紙

毎月8日・18日・28日発行

東京七島新聞

東京都島嶼町村会・東京都島嶼町村議会議長会指定広報紙

発行所 東京七島新聞社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-4-15 島嶼会館 2F

TEL 03-6459-0292 FAX 03-6459-0094

E-mail sinp@gol.com

郵便振替口座 00160-9-99828

(購読料 1 ヲ月 900 円)

東京諸島向け広告&PR

Facebook 開設!



<https://www.facebook.com/tokyo7i>

広告とPRは東京七島新聞をご利用ください。

購読と広告の申し込み先

本社 TEL 03 (6459) 0292

大島支局 TEL 04992 (2) 3540

(4) 0064

新島通信部 TEL 04992 (5) 1323

式根島通信部 TEL 04992 (7) 0260

神津島通信員 TEL 04992 (8) 1047

三宅島支局 TEL 04994 (2) 0051

八丈島通信局 TEL 04996 (7) 0014

土木・建築工事一式請負、生コンクリート製造販売
アスファルト混合物製造販売、セメント・建材販売



村松興業株式会社

〒100-0211 東京都大島町差木地字クダッチ無番地

TEL 04992-4-0511

FAX 04992-4-0567

生の椿油 Japoneira



世界初のエクストラバージン椿オイル
何も加えない、ありのままの自然のチカラを素肌に

原料は日本産の
ヤブツバキの種子のみ

独自の非加熱製法で精製

加熱製法の椿油に比べて
2.5倍の保湿力

椿
の
花



椿
の
種
子



一般的な椿油は、不純物やにおいを取り除く為に加熱処理をすることが多いのですが、「生の椿油」は一切熱を加えず、生のまま種を搾ってじっくりろ過する為、椿の持つ自然の力がそのまま生かされています。透明でにおいも少なくサラリとした使い心地。トランス型脂肪酸も含まれていません。

「生の椿油」は、肌のバリア機能を保つために重要な役割を果たす皮脂の主成分であるオレイン酸の含有率が約 85%。植物油の中でもとびぬけて高く、肌なじみが良いのが特長です。更に加熱処理をした椿油に比べ保湿力 2.5 倍！(北海道薬科大学研究室調べ)



株式会社 椿
東京都大島町元町4-10-13

☎ 0120-040-289
(平日9:00~17:00)

「生の椿油」の詳しい製品情報は



有限会社 黄八丈めゆ工房

〒100-1623 東京都八丈島八丈町中之郷 2542 代表取締役 山下 誉
TEL.04996-7-0411 FAX.04996-7-0414
 E-mail meyukobo@silk.plala.or.jp

島出身者がいる法律事務所



弁護士 秋廣道郎 (大島)



弁護士 白井裕造 (大島)

相続事件

遺産分割、遺留分、相続放棄等

離婚事件

養育費、財産分与、面会交流等

民事事件

交通事故、不動産、債権回収、債務整理等

※上記に限らず、幅広く法律問題を取り扱っています。
 お気軽に、ご相談ください。

九段坂総合法律事務所

東京都千代田区九段北 1-3-5
 九段北一丁目ビル 5 階 (最寄駅：九段下駅)

TEL.03-3515-8640

FAX.03-3515-8643

メール akihiro@kudanzaka-law.jp

電気工事一式



(有)大沼電業社

〒300-1532 茨城県取手市谷中600-2

TEL 0297-82-5762

FAX 0297-82-4833



大沼 傳次郎

我が故郷新島を後にし、上京してから早、六〇年余になりました。電気工事士の仕事をし、独立して四〇年、有限会社大沼電業社を営んで参りました。住宅の一般電気工事や役所の電気工事をさせて頂いております。現在、世代交代し私は会長をしております。長男の裕郎は社長、次男の訓教は専務として業務にあたっております。社員には東京方面の仕事任せしております。昨年郷友会の皆様と故郷に行ってきました。楽しい思い出でした。ありがとうございます。

伊豆七島 建設業協同組合

事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-4-4 富士ビル 7階
TEL:03-3436-3636 FAX:03-3436-4730

離島特別入試
新設!

その好きを、かなえます。

杉野服飾大学
SUGINO FASHION COLLEGE

www.sugino-fc.ac.jp

服飾学科 (モードクリエイション/インダストリアルパターン/テキスタイルデザイン/ファッション
プロダクトデザイン/ファッションビジネスマネジメント/ファッションビジネスコミュニケーション)
服飾表現学科 (衣装表現/スタイリング/VMD/ショープロデュース/映像メディア表現)
服飾文化学科 (歴史 × レプリカ製作・修復 × 衣のもののつくりとサステナビリティ)





いい服には、法則がある。

ドレスメーカー学院 学校法人 杉野学園
Doreme

www.dressmaker-gakuin.ac.jp

服飾造形科 / ファッションビジネス科
アパレル技術科 / 高度アパレル専門科
アパレルデザイン科 [進学課程]



目黒駅
ドレメ通り
徒歩3分

学校法人 杉野学園 | 〒141-8652 東京都品川区上大崎4-6-19 | TEL: 03-3491-8152 | MAIL: kouhou@sugino.ac.jp | JR山手線・都営三田線・東京メトロ南北線・東急目黒線「目黒駅」ドレメ通り 徒歩3分





釣り客のリピーターが多い宿
遊漁船(雄成丸)を所有

民宿 寺田屋



代表 寺田 優

東京都利島村119-2番地

TEL:04992-9-0251





明けまして
おめでとうございます。



大自然の東京諸島へ

職員を募集しています！

総務部までお電話かメールでご連絡ください。

採用情報等は当組合ホームページにも掲載しております。



七島信用組合

〈本部総務部〉TEL.04992-2-1661

Mail:jinji@shichishin.com

http://www.shichitou.shinkumi.co.jp/

店 名	住 所	電話番号
本 店	大島町元町 4-1-3	04992-2-0777
東京支店	港区竹芝客船ターミナル内 海岸 1-12-2	03-5843-3363
新島支店	新島村本村 6-8-9	04992-5-0661

神津島支店	神津島村 1448-5	04992-8-0111
三宅島支店	三宅村神着 239-1	04994-2-0081
八丈島支店	八丈町三根 1929	04996-2-1201
小笠原支店	小笠原村父島字東町	04998-2-7410

編集後記

河野 秀夫

新年早々の発行に向けて制作して来ましたが、この時期になって申し訳ありません。

昨年末に帰省して元旦の朝、波浮港から初日の出を拝みました。水平線から昇った初日はくつきり真ん丸で令和六年の幸先の良さを感じました。

新年の余韻に浸っている最中、能登地震と羽田空港衝突事故が発生し、改めて災害の怖さと災害を正しく恐れて迅速な行動が大切だということ肝に銘じた三が日でした。

皆様にとって昇り龍のように力強く飛躍する年になりますよう祈念しますとともに、当連合会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

編集委員

河野秀夫(大島)

白井勝美(大島)

菊池 順(八丈島)

駒木正雄(八丈島)

梅田 勉(利島)

清水邦洋(神津島)

山口勝子(大島)